# あいあいつうしん

No. 5 3 7 2023(令和 5) 1.4

#### 編集 京都ライトハウス 視覚支援 あいあい教室

TEL: 075-462-4462(代表)

320-4038(放疗1)

FAX: 075-462-4464 (代表) aiai@kyoto-lighthouse.or.jp

## あけまして おめでとうございます。 本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年末は急に冷え込み、クリスマスの頃には京都でも雪がちらほら…。

12月は、あいあい教室の玄関にも子どもたちの作ったブーツやリースなどのクリスマス飾りがたくさん並びました。そして今年も、あいあい教室にサンタさんが来てくれて子どもたちも大喜び!みんなの笑顔や歌声とともに、楽しい時間を過ごしました。

新しい年が、皆さんにとって笑顔あふれる1年でありますように…。 それでは、今月のつうしんをお届けします。



# 1月の予定

<児童>18日(水) ひよこクラブお遊び会(14:30~16:00)

30日(月) 義眼相談(カジヤマ・プロテーゼによる)

く児童・放デイ>

4日(水) 通園・通所始まり

<職員研修>

6日(金) 新人研修(10:00~16:00)

安全運転研修(16:45~17:30)

20日(金) 第63回 弱視教育研究全国大会 栃木大会(オンライン) 令和4年度 子育てサポートプログラム支援者養成研修会

※後期個別懇談の日程等については、後日お知らせします。

#### ★ホームページ版「あいあいつうしん」がご覧になれます★

京都ライトハウスのホームページ内、あいあい教室のページから「あいあいつうしんWeb版」のコンテンツにアクセスしてください。写真がカラーで掲載されています。Web版もぜひご覧ください!

## ~年長児 保護者の皆さんからのメッセージ~

先月号に引き続き、年長さんの保護者から、卒園に向けてのメッセージです。 皆さま、お忙しい中ありがとうございました!

こう見えて仲良いんですよ

(6)

### その3 K さん

妊娠6ヵ月で出産し、何度も何度も手術を繰り返しました。治療室にいる頃は、とにかく生き延びることが最優先で他の機能のことを考える余地はありませんでしたが、退院して外に出てみると、今度は目や発達遅滞などハンデを抱えながら社会で生きていくという点に意識をシフトしていく必要がでてきました。当時は療育という言葉すら知らない状態で、訪問看護師に勧められ入ったこのあいあい教室がなければ、育児の進め方も就学の流れも将来のビジョンも何もわからない状態でいたと思います。

この約5年の間、母部屋で園や学校への準備の話をお母さん方から伺ったり、 就学の勉強会で学んだりしながら、ハンデのある赤ちゃんがどうやって先に進 んで社会に混じっていくのかという流れを少しずつ掴むことができて本当に 良かったと感じています。母部屋でのふとした雑談の中からも、手帳の申請、 園の加配制度、日常の工夫など自分が全く知らなかったリアルな必要情報を得 ることができ、かなり助けられたと思います。

月火水木金と、年ごとに色んな曜日、クラスで長い間お世話になったあいあい教室は、Kのこれからの人生においてかけがえのない土台を作ってくれました。病院しか知らなかったKが初めての先生、初めてのお友だち、共同作業、遊び、音楽、創作、自然、様々なものに触れさせて頂きながら、少しずつ外の世界を知り、いつか羽ばたいていく為の大きな力を頂きました。本当にありがとうございました!

#### その4 T さん

産まれてすぐ片目が開かず、一生涯見えないであろうと診断を受け、小児の目の疾患については情報も少なく、ネットで検索しては泣いての3ヵ月。ふとしたことから、あいあい教室の存在を知り、お世話になること早6年。赤ちゃんの頃から本当にありがとうございました。

成長とともに壁が立ちはだかることもあり、義眼の装着や視力、園での過ご

し方から家族のことまで、先生方が一緒に試行錯誤しながら寄り添って下さったおかげで、乗り越えてこられた6年間だったと思います。先生方の深い想いと愛情でつつまれ、Tちゃんはすくすくと成長し、元気に逞しく思いやりを持った子に育ったなと思っています。Tちゃんだけでなく、私たち家族も温かく支えて下さり、本当に感謝しています。また、お母さん部屋で笑いあり涙ありの時間も、とても大切な時間でした。たまには息抜きにランチに行って、いろんなことを話しつくして笑って、またお互いに学ばせてもらえるステキな場所でした。

あいあい教室で過ごさせて頂いた時間は、Tちゃんにとっても私たち家族にとっても、かけがえのない宝物だと思っています。改めて、あいあい教室の先生方、ライトハウスのスタッフの方々、感謝してもしつくせないほどの想いがあります。本当にありがとうございました。また、これからも放課後デイを利用させてもらう予定です。よろしくお願い致します。

### その5 S さん

気が付けば1歳2ヵ月から通い始めたあいあい教室も、あと3ヵ月になりました。

Sの病気が見つかったのは生後10ヵ月。病気で気になっていた斜視の検査をしたときです。単なる斜視だと思っていたのが、網膜分離症という聞いたことのない病気だと分かり、しかも右目は見えていない、左目は弱視・視野欠損という状態でした。左目の視力を少しでも伸ばすための眼鏡を、なかなかかけてくれず困っていたときに、ある不思議なきっかけであいあい教室を知り通うことになりました。通い始めの頃、手掴みをしないSに、担当の先生がパンケーキを手で持って食べるという動作を何度も何度も繰り返し見せて、数週間後にSが手掴み食べをした瞬間は今でもはっきりと覚えています。

3歳位まで続いた夜泣きの影響で、あいあい教室に通うことが大変な時期もありましたが、それでも今日まであいあい教室を続けてこられたのは、たくさんの先生方のおかげです。あいあいの先生方は、どんなときでも否定せずに受けとめてくれるので、Sにとって安心できる大切な場所になりました。

4月からは小学生になります。あいあい教室で学んだことを大切に家族全員で仲良く健康に過ごしていきたいです。先生方、保護者の皆さま、本当にありがとうございました。

児童

# ○。ミニクリスマス会を行いました

今年も通園グループごとに、"ミニクリスマス会"を行いました。

「サンタさん来てくれるかなぁ…」と、子どもたちも期待いっぱい!鈴の音が聞こえると…ちょっぴり緊張した表情になってさらにドキドキ。そして、クリスマスソングとともにサンタさんが登場!一緒に歌を歌ってプレゼントをもらった子どもたち。サンタさんの洋服やおひげも触らせてもらいました。「サンタさんの服、赤色やった」「サンタさんのおひげ、フワフワしてた!」と、子どもたちも大満足。

今年のクリスマスプレゼントは、手作りのクリスマスカード(就労継続支援"FSトモニー"利用者さんによるものです)とハンカチ。クリスマスカードは、点字用紙の台紙に細かい古布を貼り付けて作ったクリスマスツリーとブーツ、雪だるまの絵柄がついています。古布の凹凸があり、見えない見えにくい子どもたちにも、触って分かりやすくなっています。保護者からは「触れるんですね!素敵」「綺麗な絵柄ですね」などの声もありました。

子どもたちの笑顔あふれるミニクリスマス会となりました。

### 

### 【ご寄付・ご寄贈いただきありがとうございました】

~皆さまからの温かいご支援、心より感謝申し上げます~

- (株)サン工芸様より、クリスマスにと多額のご寄付をいただきました。 (子どもたちへのクリスマスプレゼントをご寄付の一部で購入させていただきました。また、玩具も購入させていく予定です)
- ・ 浪川様より 点訳絵本「てぶくろ」
- ・点訳サークル てんてん様より 点訳絵本「3びきのくま」他19冊
- ・点友会様より 拡大写本「まじょのルマニオさん」他2冊

いつも患者さんの前で 夫婦漫才やってるで



おれも漫才 やってみたいなぁ

\* 今月の一言 \*

脚本が面白そう!キャストにも惹かれる!1話も逃さず見た。そして今、「鎌倉殿」ロス…。廣瀬